

日本教育大学協会理事会開催

日本教育大学協会理事会が2月8日（金）、東京の学士会館で開催された。

理事会では、村松泰子会長（東京学芸大学長）が冒頭あいさつを行い、昨年秋に開催された教大協の学長・学部長等連絡協議会以降の動きを振り返り、「政権の移行により大学改革の方向性が今後どのようになるのか、また昨年の大学教育の質的転換そして教員の資質能力向上についての中教審答申の今後の行方はどうかなどについて、文部科学省から情報がいただけるのではないかと。また昨年中盤以降、学校をめぐる状況として、特にいじめの問題、最近になり体罰の問題等々があり、学校や教員に向けるまなざしが厳しい時代になっている。教大協企画委員会としてもいじめの問題についての教員養成課程の授業、研究活動、あるいは社会貢献活動等について各会員大学に照会をかけた。その結果、非常に多くの教育活動・研究、社会貢献活動等、そしてそれを担っている教員・研究者に関する情報が集まっているので、教大協として、今後これを公表し生かしていきたいと思っている」と述べた。

引き続き文部科学省高等教育局池田貴城大学振興課長から、①高等教育局関係の平成25年度予算(案)、②ミッションの再定義、③国公立大学を通じた大学教育改革の支援の充実等、④教員の資質能力向上に係る当面の改善方策の実施に向けた協力者会議における修士レベルの教員養成課程の改善に関するワーキンググループの審議状況、⑤平成25年度大学入試センター試験実施概要・高大接続部会の審議状況、⑥教育再生実行本部中間取りまとめについての説明、続いて初等中等教育局高口努教職員課長から、①前記協力者会議における教職課程の質の保証等に関するワーキンググループの審議状況、②平成25年度免許状更新講習の開設予定状況、③平成24年度免許状更新講習事後評価結果（平成24年12月末時点報告分）、④教員免許更新制における更新講習修了確認手続に関する周知への協力依頼、⑤教職員課関係の平成25年度予算案について、それぞれ説明があり活発な意見交換が行われた。

文部科学省説明後は、各委員会等の報告に続いて、各地区会から出された提案議題について、意見交換を行った。また、来年度の活動方針と研究助成の採択が承認された。平成25年度の研究集会は、北海道教育大学の当番で、10月5日（土）札幌市において開催したい旨の提案があり承認された。



村松会長



池田大学振興課長



高口教職員課長



文部科学省の説明に熱心に聞き入る各理事